

令和6年度 全国学力・学習状況調査の分析 河内長野市立南花台中学校

全国学力・学習調査の概要

国語

設問番号	学校の平均正答率
1一	59.5
1二	78.4
1三	43.2
1四	29.7
2一	43.2
2二	78.4
2三	67.6
2四	43.2
3一	78.4
3二	78.4
3三	64.9
3四	45.9
4一	59.5
4二	51.4
4三	81.1

数学

設問番号	学校の平均正答率
1	54.1
2	78.4
3	81.1
4	81.1
5	70.3
6(1)	91.9
6(2)	51.4
6(3)	45.9
7(1)	70.3
7(2)	29.7
7(3)	51.4
8(1)	83.8
8(2)	27.0
8(3)	83.8
9(1)	32.4
9(2)	40.5

概要

学習指導要領の内容「知識及び技能」の平均正答率は大阪府平均・全国平均を上回っている。しかし、「思考力、判断力、表現力等」のうち、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で大阪府平均・全国平均をやや下回ったので、引き続き、自分の考えを言葉で表現する練習を重ねていきたい。

特に成果が見られた問題例

3二 物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選ぶ。(文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる問題。)本校の正答率は大阪府平均・全国平均と比較して25ポイント程度上回っていた。

特に課題が見られた問題例

1四 話し合いの話題や発言をふまえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く。(話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題)本校の正答率は大阪府平均・全国平均と比較して10ポイント以上下回っており、記述式のため、無答率も高かった。

概要

全国・大阪府と比べて正答率が10%程度高い結果となった。特に数と式の領域については、13~14%高かった。この結果につながった理由として考えられることを3点あげると、①、習熟度別の授業を行い、生徒の状況に応じた対応が行いやすいということ。②、基本の計算プリントを授業の初め5分で行っているということ。③、自習ノートを提出する生徒が多い学年であること。があげられる。しかし、確率や最頻値の問題などのデータの活用領域では全国や大阪府との差がほとんどない状態であるので、この領域の知識の定着が課題であると考えられる。

特に成果が見られた問題例

2の等式の変形の問題では、全国と比べて25.9%正答率が高い結果となった。

特に課題が見られた問題例

7(1)の最頻値の問題では、全国よりも4%正答率が低く、唯一無回答率も高かった。

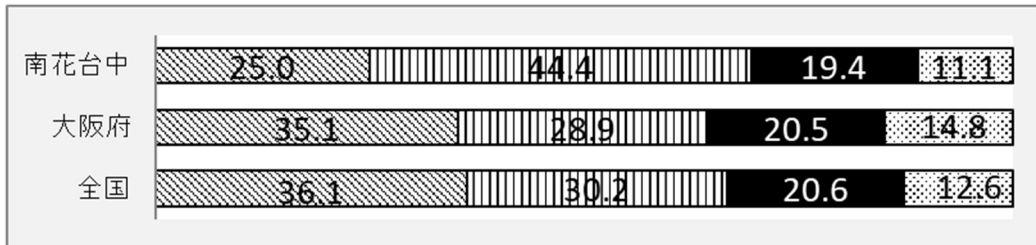
全国学力・学習状況調査の概要

生徒アンケートより

全国や大阪府平均と比較し本校3年生の特徴（調査実施時点）と考えられる項目についてまとめました。

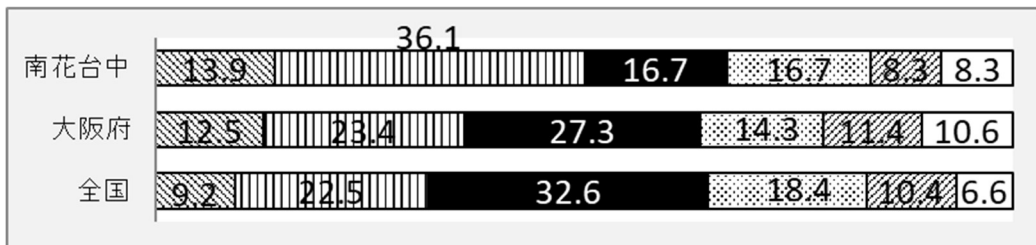
グラフは左から [当てはまる／どちらかと言えば、当てはまる／どちらかと言えば、当てはまらない／当てはまらない] または [そう思う／どちらかと言えば、そう思う／どちらかといえば、そう思わない／そう思わない] の順に表しています。

◆1. 将来の夢や目標を持っていますか。



◇1. 自分の将来に夢や目標を持ち、自己実現に向けて学習・特別活動・学校行事・部活動などに取り組んでいる生徒が約7割という高い数値が出ています。

◆2. 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）※グラフは左から3時間以上2時間以上1時間以上30分以上10分以上それ以下になっています。



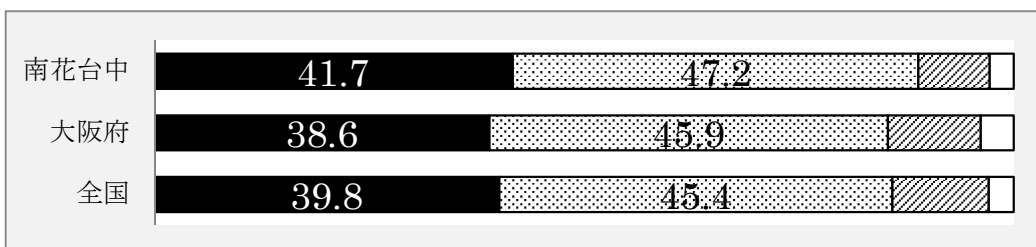
◇2. 平日の学習時間は毎日1時間以上学校以外で勉強をしています。ところが、土日においては極端に学習時間が短くなるという結果が出ていますので、土曜日や日曜日など学校が休みの日の学習計画を立てるようにしましょう。

◆3.1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。

(4) 画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる

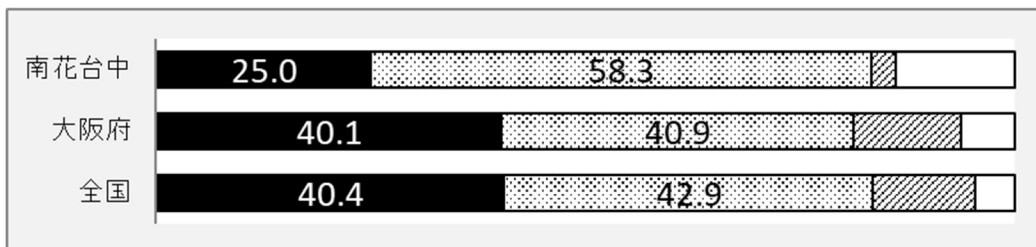


(7) 友達と協力しながら学習を進めることができる。



◇3. 本校は授業内でPC・タブレットなどのICT機器を使う機会を多く設けており、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うことで学習内容を理解することに効果的であると答えている生徒が9割を超えています。また、ICT機器を活用することで共同的な学習を進めるのに「役に立つ」と答えている生徒も多く、ICT機器を効果的に使いこなしていることがうかがえます。

◆4. 自分には、よいところがあると思いますか。



◇4. 昨年度に比べて大幅に約30ポイントアップしています。小中一貫教育推進校になり、小学生との縦割り活動等を通して、年少者から頼られることが多くなったことで、自己有用感が高まり、自らを肯定的にとらえることができています。

調査結果を受けて

学校が重点的に取り組んでいくこと

- ① 「つながりあい、学び合う授業」を継続して進めていきます。
 - ・グループ学習、ペア学習、協働学習を積極的に取り入れることで自身の成長の実感を高めま
 - す。
 - ・発表の機会を増やし、成功を体験することで自尊感情を育てます。また、相手に伝える能力
 - を高めたり、相手の意見を尊重する力を伸ばすことでコミュニケーション能力や自己有用感
 - を高めま
 - す。
 - ・習熟別指導などを通し一人ひとりを支援し、自らが見通しをもって学習に取り組めるよう課
 - 題の与え方を工夫し、達成感を味わえるようにします。
- ② 行事を充実させ、生徒の個々の力を伸ばします。
 - ・体育大会やダイナミックフェスティバルなどの小学校と合同の行事や学年行事で生徒同士が
 - 意見を出し合い企画運営をする体験から、自分たちの力でやり遂げたという経験、達成感や
 - 誰かのために自分自身が役立っているという自己有用感や自尊感情を高めま
 - す。

生徒のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

- ① 計画的な家庭での学習を継続しよう。

計画的に課題に取り組み続けることは力を伸ばし大きな自信になります。
- ② 積極的に物事に取り組みましよう。

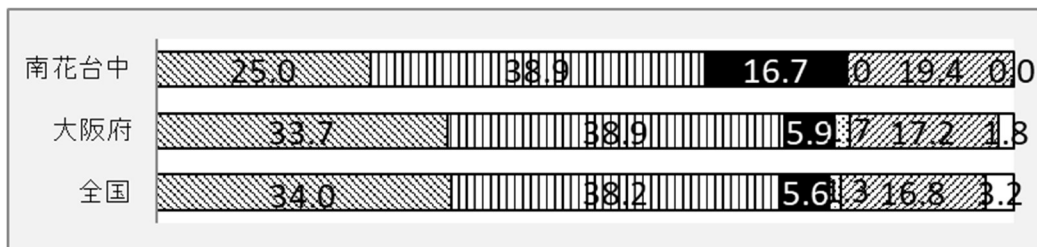
行事や学習に取り組む姿は十分に力が発揮されています。自分に自信を持ち、一歩前へでる気持

ちを持ちましよう。

保護者のみなさまに協力してほしいこと

- ① 家庭学習を計画的に行うよう引き続き支援をお願いします。また子ども達の携帯の使用など
- を規律あるものになるようにしてあげてください。

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか（左から、守っている、大体守っている、あまり守っていない、守っていない、スマホなどは持っているが約束はない、スマホを持っていない。）



- ② 家庭では出来るだけ子どものできたことを評価し、はげますようお願いします。